X 線非弾性散乱法による Bulk SiGe 低エネルギー側フォノンスペクトルの フォノン分散曲線評価

Evaluation of Phonon Dispersion for Low Energy Side Phonon Spectrum of Bulk SiGe by Inelastic X-ray Scattering

[°]横川 凌^{1,2}、竹内 悠希¹、荒井 康智³、米永 一郎⁴、Sylvia Yuk Yee Chung⁵、

富田 基裕⁵、内山 裕士⁶、渡邊 孝信⁵、小椋 厚志^{1,2}

(1.明治大理工、2.再生可能エネルギー研究インスティテュート、3. JAXA、

4. 東北大学、5. 早稲田大理工、6. JASRI)

°R. Yokogawa^{1,2}, H. Takeuchi¹, Y. Arai³, I. Yonenaga⁴, S. Y. Y. Chung⁵, M. Tomita⁵,

H. Uchiyama⁶, T. Watanabe⁵, and A. Ogura¹

(1. Meiji Univ. 2. MREL 3. JAXA 4. Tohoku Univ. 5. Waseda Univ. 6. JASRI)

E-mail: r yokogawa@meiji.ac.jp

【背景と目的】 SiGe混晶はSi、Geと比較して 熱伝導率が小さいため、次世代熱電デバイスへ の応用が期待され、その熱伝導率低下のメカニ ズムの解明に向けてSiGeにおけるフォノン散 乱と分散曲線の理解・把握が極めて重要となる。 しかし、SiGeのフォノン散乱機構は単純なSi、 Geと異なり複雑であり、先行研究では光学・ 音響フォノンに加えて幾つかの局在振動モー ドの存在が報告されている[1]。我々はこれま でにフォノンエネルギーを選択的に測定可能 な X 線 非 弾 性 散 乱 (IXS: Inelastic X-ray Scattering)を用いて低エネルギー側に新たなフ オノンスペクトルが出現することを報告した [2]。本研究では、SiGeのフォノン散乱機構を 理解するため、低エネルギー側に出現するフォ ノンスペクトルのフォノン分散および熱伝導 率の関係について詳細に検討し、その結果につ いて報告する。

【実験】 試料はCz法[3]で作製されたGe組成 16、72%のBulk SiGe、およびTraveling Liquidus Zone法[4]で作製されたGe組成32、45%のBulk SiGeで、事前にX線回折法で全てのBulk SiGe が単結晶であることを確認した。IXS測定は、 SPring-8のBL35XUに設置されたIXS装置を用 いた。X線のエネルギー17.7935 keV、分光器の エネルギー分解能3 meV、ビームサイズ約50 µmの条件で実施し、Γ点からX点までのブリル アンゾーンを測定した。

【結果・考察】 低エネルギー側に位置する新 たなフォノンスペクトルの一例として、Г点に おける Bulk SiGe (Ge: 16%)の光学モード IXS スペクトルを図1に示す。結果、Ge 組成 16% の Bulk SiGe において、低エネルギー側のフォ ノンスペクトルは光学モードの Ge-Ge、Si-Ge モードよりも強度が高いことが明らかになっ た。さらにこのピークは他の Ge 組成試料でも 観測され、また Γ点以外でも出現することを確 認した[5]。

図2にTAモードと低エネルギー側フォノン スペクトル分散曲線のGe組成依存性を示す。 Ge組成の増加に伴い、TAモードは低エネルギ ー側にシフトし、明確なGe組成依存性が確認 された。一方で、低エネルギー側のフォノンス ペクトルは運動量およびGe組成に依存せず、 ほぼ一定のエネルギーを示すことが明らかに なった[5]。これらのフォノン分散はTAモード と近く、熱輸送に大きく関与することが示唆さ れる。以上、このフォノン物性はSiGeの低熱

伝導率メカニズム解明に重要であると考える。 【謝辞】 本研究は JASRI (課題番号: 2016A1496 2017B1630 2019A1678 . ` てド 2019B1750) \mathcal{O} 認 可 お よ JST-CREST(JPMJCR19O5)の補助を受けたもの である。また、本研究にあたり、実験・解析に 関し多大なるご助言をいただいた(株)キオク シア 臼田 宏治氏に感謝申し上げます。



Fig. 1 IXS spectrum of Bulk $Si_{1-x}Ge_x$ (x = 0.16) at the Γ point obtained by IXS.



Fig. 2 Ge fraction dependence of phonon dispersion curves for TA mode and anomalous peaks (phonon spectra on the low energy side).

- [1] O. Pag'es et al., Phys. Rev. B.86, 045201(2012).
- [2] 横川 他, 第 80 回応用物理学会秋季学術講演会演 予稿集, 17-034 (2019).
- [3] I. Yonenaga, J. Cryst. Growth 275, 91 (2005).
- [4] K. Kinoshita et al., Jpn. J. Appl. Phys. 54, 04DH03 (2015).
- [5] R. Yokogawa *et al.*, Appl. Phys. Lett. **116**, 242104 (2020).